

2020年8月11日

関係各位

本学にて発生した新型コロナウイルス感染症によるクラスターの終息について

中部学院大学

学長 古田 善伯

中部学院大学短期大学部

学長 片桐 多恵子

本学において7月23日以降、新型コロナウイルスに感染した学生が複数名確認されました。在学生やご家族、関係者をはじめ、地域のみなさま方には多大なご心配をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

本学では、今回の事態を踏まえ、今後さらに感染防止対策をより一層徹底していきたいと存じます。

1. 新型コロナウイルス感染症によるクラスターの終息について

【感染者確認からその後の経過】

- ・7月23日(木)から26日(日)までの間、PCR検査で「陽性」と判定された学生について
感染が確認された学生は全員、保健所からの指導により入院・療養しておりました。8月4日(火)までに全員が退院し、現在は自宅にて4週間の経過観察を行っております。
- ・濃厚接触者としてPCR検査を行い「陰性」と判定された学生について
2週間の経過観察期間が過ぎましたが、感染の兆候もなく健康状態に問題はありません。

岐阜県は、本学学生(硬式野球部)の感染状況をクラスターとして認定していますが、その後、二次感染者の確認もなく、本件に係る以降の感染拡大はありません。

これを受け、岐阜県は8月10日(月)をもって、このクラスターが終息したことを発表しました。

2. クラスター発生による本学の対応について

- ・感染者が確認されて以降、キャンパス内を立入禁止とし、消毒作業等を実施しました。
- ・硬式野球部の寮については専門業者による消毒作業を行いました。